

82 期ナカノブー建設 年間重点事項

1. 2023 年度 全社安全衛生目標

※目標値 ・度数率 0.40 以下 ・強度率 0.02 以下

2. 重点方針

- (1) 墜転落災害・飛来落下災害と重機（クレーン・車輛系）災害の根絶
- (2) 公衆災害防止の確実な事前計画と対策の徹底
- (3) リスクアセスメントの確実な実践と、適切な指揮系統による再下請負工事
- (4) 安全教育、教育支援の更なる充実
- (5) 健康に配慮した職場環境形成の促進

3. 重点施策

- (1) 墜転落災害・飛来落下災害と重機（クレーン・車輛系）災害の根絶
 - ① 『開口部ゼロ』対策の実践と指差呼称、音声標識等の活用による注意喚起の継続（落下防止設備の先行設置と維持管理の強化）
 - ② 玉掛け作業時の始業前点検・正しい玉掛け及び吊荷直下の立入禁止の徹底
 - ③ 重機区画と誘導者配置の徹底、作業計画に基づく安全対策の確実な実施
- (2) 公衆災害防止の確実な事前計画と対策の徹底
 - ① 激甚化する気象災害も考慮した公衆災害防止対策の事前計画と確実な実施
 - ② 公衆災害防止設備（仮囲い・ゲート周辺・アサガオ等）の確実な設置
 - ③ 第三者安全誘導の徹底
- (3) リスクアセスメントの確実な実践と、適切な指揮系統による再下請負工事
 - ① 安全基本 3 行動『ひと声かけ、現地 KY、ワンポイント指差し呼称』実践の徹底
 - ② 適切な指揮系統（安全衛生責任者・作業主任者等）による安全管理の徹底
 - ③ 新規入場 7 日以内、未熟練労働者、外国人労働者への作業中の指導及び作業確認の強化
- (4) 安全教育、教育支援の更なる充実
 - ① 1 次協力会社から 2 次・3 次会社（一人親方含む）及外国人労働者への安全衛生教育の支援充実
 - ② 若手技術社員への安全衛生教育強化のため、本部及び拠店による安全衛生教育の強化
- (5) 健康に配慮した職場環境形成の促進
 - ① 4 週 8 閉所実現による心身の健康確保
 - ② 無記名ストレスチェックに基づく、より快適な職場環境への改善実施
 - ③ 健康 KY による健康状態の把握と熱中症対策の実施（空調服着用・体調不良時の報告徹底）

2023(令和 5)年 7 月重点目標

【開口部・通路等での災害の防止、全国安全週間】

- ①杭穴には杭の種類に応じて、ずれ止め付きの木蓋・鉄板等で覆う。また、関係者以外の者が杭穴に近づかないよう、作業エリア外周部に立入り禁止措置を講じる。
- ②大きな床の開口部周囲及び高所の床の端部には、高さ 90cm 以上の堅固な手摺及び中さん、(または垂直ネット) と注意看板を設置する。また、資材の落下を防止するため高さ 10cm 以上の中木を設置する。また、周辺で作業を行なう場合には指差呼称を実施し安全確認する。
- ③大きな床の開口部で使用しないときは、安全ネットを張り墜落防止措置とする。
- ④小さな床の開口部は、ずれ止め付きの蓋を設置し注意看板を表示する。
- ⑤開口部の手摺・安全ネット等を、作業の都合で一時取り外す際は、使用者に現場事務所まで報告させる。当社は、使用者に墜落制止用器具の使用を指導する。
また、作業終了後の安全設備の復旧後にも報告させ、復旧状態を確認する。
- ⑥小さな床の開口部を使用する者は、作業終了後、木蓋等の覆いを復旧する。
- ⑦通路は必要に応じて柵、ロープ等で明確にする。
- ⑧通路面（スロープ、階段状に処理した場合も含む）は、つまづき・滑り・踏抜き等の危険のない状態とし、照度を確保する。（勾配が 15 度を超えるものには踏棧等の滑り止めを設ける）
- ⑨通路には、障害となる製品・材料等を置かない。
- ⑩通路は、適度な照度を保つ。
(地下の階段には、非常用照明の設置等の仮設計画を検討する)
- ⑪通路上で作業を行う場合には、接触を防止するため柵、標識等を設ける他、他業種との連絡調整を行い、災害の発生を防止する。

⑫全国安全週間期間中の行事を、計画し実施する。

⑬安全設備、休憩施設の点検を実施し、改善を行い快適な職場環境を作る。

⑭作業所長や上司は、新入社員のメンタルヘルス不全（うつ病、統合失調症、不安障害）等に十分注意する。